

## 七夕飾りをプレゼント

ほしか保育園（山口太子園長）の園児 30 人は 7 月 7 日、園の七夕祭りに合わせて日頃からお世話になっている星鹿郵便局、星鹿町警察官駐在所、星鹿公民館の 3 箇所に手作りの七夕飾りをプレゼントしました。

園児たちは「いつもありがとうございます。今日は七夕です。笹飾りを作ったので、飾ってください」と声を揃えてお願いしました。

駐在所では、七夕飾りのお礼に駐在所に勤務する篠原省太さん夫妻がユーフォニアムを演奏。みんなで「たなばたさま」を合唱しました。



## ライオンズクラブ弁論大会

松浦ライオンズクラブ（小賦光則会長）が主催する第 34 回小中学生弁論大会が 7 月 4 日、文化会館で開催されました。

参加した 16 人の中から栗山優花さん（御厨小 6 年）、熊本侑亜さん（鷹島中 3 年）が最優秀賞に選ばれました。栗山さんは「働くとは？」と題し、母親との会話から生じた仕事に関する疑問について自分なりの考えを発表。熊本さんは「当たり前にある、当たり前前でないもの」と題し、感謝の気持ちを言葉に出して伝えることの素晴らしさを発表しました。熊本さんは、8 月 24 日に行われる県大会へ出場します。



▲栗山さん（左）と熊本さん（右）

## エミネントスラックスと立地協定を締結

株式会社エミネントスラックス（高野圭右代表取締役会長、写真左）と市は 6 月 28 日、志佐町栢木免の堂山工業団地に工場を移転することに伴い、立地協定調印式を執り行いました。

同社は、市の誘致企業第 1 号として昭和 44 年に松浦工場を開設。年間約 21 万本のスラックスを製造しており、国内シェアはトップクラスを誇ります。国内外の有名ブランドから発注を受ける技術の高さには定評があり、近年はオリジナルスーツブランド「WESTORY」の上げや、世界に一つだけのチェック柄「松浦タータン」を使った商品の販売を行うなど、地域密着型企業としても知られています。

従来の工場は建物の老朽化や、志佐川近くに位置し豪雨時の浸水被害への懸念もあり、移転が決まりました。調印式で高野会長は「地元の人たちとの交流をさらに深めていきたい。地球環境に配慮した新しい工場にしたい。」と抱負を述べました。

同社は、着工に当たっては、市民の皆さんのご意見を頂きながら志佐川ウォーキングでの休憩場所、災害時の市民の皆さんの避難場所活用など親しまれるエリアにしていきたいと考えているそうです。



# まちの話題

## 卓球全国大会への出場を報告

全農杯 2021 年全国日本卓球選手権大会カブ女子シングルス（小学 4 年生以下の部）に出場する、小船<sup>つがら</sup>円さん（御厨小 3 年・北松ジュニア所属）が 7 月 13 日、市役所を訪れました。小船さんは、5 月に開催された長崎県選考会で優勝し、7 月 22 日から兵庫県神戸市で開催される全国大会への切符を勝ち取りました。

小船さんは「全国大会で上位に入り、ナショナルチームに選ばれるように頑張ります。」と抱負を述べました。



## 災害に備え協定を締結

一般社団法人水産土木建設技術センター（吉塚靖浩理事長）と市は 7 月 6 日、漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定を締結しました。この協定は、市の管理する漁港施設等が高潮や波浪、地震に伴う津波などで被災した際、災害復旧を速やかに実施し、漁業活動への影響を最小限に抑えることを目的とするものです。

高屋雅生常務理事は「近頃は次から次に災害が起きている。センターの専門的見地から速やかな災害復旧をサポートしたい」と話しました。



## 柚木川内キャンプ場がオープン

松浦市民休養施設柚木川内キャンプ場の安全祈願祭とキャンプ場開きが、7 月 1 日に行われました。

昭和 58 年に開設した同キャンプ場は、志佐川上流の景勝地「龍王の滝」に沿う国有林の中に整備され、毎年 7 月から 10 月まで利用できます。

この日の祈願祭には、地区の関係者、警察、消防などが参加し、キャンプシーズン中の安全を祈願しました。



## 水の事故に備え「ういてまで」を学ぶ

松浦市消防本部の有志職員で構成する長崎県着衣泳会 まつうラッコ会は、6 月から 7 月にかけて市内 6 校の小・中学校を訪れ水難事故に備えた講習会「ういてまで」を実施しました。

上志佐小学校で 6 月 30 日に実施された講習会には、同校全児童 45 人が参加。「ういてまで」を合言葉に、水中に落ちた時、無理に泳いだり助けを呼ぶために叫ぶのではなく、浮いた状態で助けを待ち、身を守る方法を学びました。

